

降誕前第7主日・聖徒の日・召天者記念礼拝
2021年11月7日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式: 中村吉基牧師

奏楽: 中村今日子

前奏

招詞 ローマの信徒への手紙 14:9

キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです。

讃美歌 18(「心を高くあげよ!」)

聖書朗読

旧約聖書 創世記 1: 1~8

1 初めに、神は天地を創造された。2 地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。3 神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。4 神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、5 光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。6 神は言われた。「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」7 神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。そのようになった。8 神は大空を天と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第二の日である。

新約聖書 ヨハネによる福音書 14:1~6

1 「心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。2 わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。3 行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。4 わたしがどこへ行くのか、その道をあなたがたは知っている。」5 トマスが言った。「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるでしょうか。」6 イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。

祈禱

説教 「神は直線を描かない」

中村吉基牧師

祈 禱

讚美歌 385(花彩る春を)

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあげさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与え
たまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)
のものなればなり。アーメン。

祝 禱(派遣と祝福)(ご無理のない方はご起立ください)

中村吉基牧師

後 奏

報 告